



↑ 外観



↑ テーブル席



↑ 座敷席



↑ 八尾和紙を使ったメニュー表



↑ 本日の気まぐれランチ



2009年4月にオープン。『町屋をアソブ』をテーマに八尾の町屋を改修してできたお店です。もともとは、50年以上続くモツ鍋屋さんでした。手間暇かけたおいしいモツ鍋を食べようと、たくさんのお客さんと賑わっていました。しかし店主であるおかあちゃんの逝去により閉店。

それから2年…あのモツ鍋屋の屋号を復活させようと、おかあちゃんの家族たちが立ち上がり、見事に『山元食道』が蘇りました。なによりも地元を大切にしており、生産者の顔が見える食材をおいしくいただく「地産地消」は、安心・安全・健康な食のあり方といえます。八尾という恵まれた環境を生かし、できるだけ地元の食材にこだわり、地元で作られた酒や味噌を使って調理しています。旬の食材は、旬に食べるからこそおいしい。

そのときどきの季節感を大切に、素材の旨味を存分に味わっていただけるよう一品一品を丁寧に作られているお店です。

営業時間
【昼の部】
11:30~14:00
金・土・日のみ
ランチ営業
【夜の部】
ご予約のみ営業

Access
〒939-2341 富山県富山市八尾町鏡町 1000-10
Tel 076-455-2209

2013年 Vol.2 出ました！
その都度、個人的にオススメできるものなどを提供していますが、もし知りたいこと、聞きたいことなどあれば、HPのメッセージに書きこんでいただければ特集しようと思います！スタッフの考えた製品を作っている Vintage Factory のHPも3月にリニューアル予定なので要チェックです！
畑 康志



INTERIOR SHOP MIYAMOTO
富山市千石町通り 1-1-6
TEL 076-422-1122
FAX 076-492-0322
E-mail info@miyamoto-kagu.net
<http://www.miyamoto-kagu.net>
最新情報はHPの『Latest News』から！

ミヤモト家具の若きスタッフ達によるデザイン。

今回は各々の持つデザインコンセプトを尋ねてみました。



Plum Low Stool

竹原 強平

形はシンプルで素材感を生かした造りに。脚の内側に付いたRは座面のRと同じ径にしておき、デザインの全体像をまとまりのあるものにしていきます。リビングや座敷で、お子様のこども椅子として、低座椅子として、はたまた座敷用のサイドテーブルとして、多種多様な使い道があるマルチズツールです。



Mm Tissue Box

宮崎 碧

斜めにカットされた取り出し口は、ティッシュ箱を見せないデザインに。マグネット付きのフタは、どの角度にしてもティッシュ箱が落ちないように仕様に。生活感のあるティッシュ箱を住宅に溶け込むように一つ一つのディティールまでこだわり抜いた総無垢材が魅せるオリジナルティッシュケースです。



Collabo Trash BOX

杉木 涼

『ゴミ袋をキレイに収納できるゴミ箱』を第一のコンセプトとし、デザインしました。さらに、フタ部分と本体のツラを合わせ、見た目もスッキリとしたイメージに。そして、フタの内側に傾斜をつけることで、『ゴミを入れる』という誘導性も考慮した、こだわりのゴミ箱です。



Hanger Tree

澤田 千聖

玄関やリビング、子供部屋など様々なスペースに置けるコートハンガー。上着や帽子だけでなく、ミラーやキーホルダーなど、いろいろとひっかけて使い方を楽しめず。ボリュームのある丸棒を『組む』ことにより、スッキリとした印象に。さりげない佇まいで木の風合いも十分。お部屋になじみやすい形です。

新製品情報

Hanger Tree ~Produced by Sawada~

凜とたたずむ立木のように、飾らずともただそこに在るだけで美しい。用途、風合い、一人一人がオリジナルを楽しめるデザインが魅力。



一入り組んだ枝木のようなデザイン。複雑な角度で構成された形は製作が難しく、職人の技術力の高さを物語っています。

一外の枝部はもちろんのこと、内側の構造体にもいろんなものを掛けることができるため十人十色、一人一人がオリジナルの使用方法を考えていただく楽しみ方もあります。



Size : W360 D360 H1650
 本体 : タモ無垢材 ¥29,610 (税込)
 本体 : ウォールナット無垢材 ¥34,230 (税込)

ワンポイントアイテム

暮らしを彩るキッチンウェア『キャニスター』

乾物や調味料などを入れておくための保存容器ですが、いろんな素材の組み合わせやデザインがあります。保存容器をそのままオシャレなディスプレイにできるので、だれでも簡単にオシャレなキッチンスペースを演出できるのが魅力。



↑ ガラス×金属蓋

ガラス×金属

無機質×無機質の少し冷たさのある素材感です。凹凸や丸みのあるデザインが多く、華やかな印象を受けます。金属部のキズ、くすみなどの使用感がヴィンテージの風合いを演出します。



↑ ガラス×木蓋

ガラス×木蓋

食材の色、形をそのままディスプレイできるガラス容器に木という素材感をミックス。日常的なキッチンという空間に、一味違うスパイスを加えてくれることは間違いなし。



↑ 陶器×木蓋

陶器×木蓋

左写真の乳白色と木の組み合わせはカントリー調を思わせる優しい雰囲気。淡色の着色がされたものも多数あるので優しい空間創りにはもってこいのキャニスターです。



↑ 使用例

ガラス×木蓋

ガラス容器に色とりどりの調味料、香辛料、またはマカロニ、形が変わったパスタなどを入れ、ただキッチンに並べておくだけ。それだけで少しオシャレな雰囲気になります。

タモ材について

日本、中国、ロシアがおもな原産地。広葉樹の中でも非常に大きく生長し、ケヤキ、クリと並んで、まとまった均質な材が取れ、加工もしやすいことから、家具材をはじめ住宅の造作材などにも広く使われています。木質は、硬く、力を加えても折れずに「たわむ」木の性質から、その名が付いたように、タモは強さとしなやかさを兼ね備えており、加工性にも優れています。そのため、家具だけではなく、建築物や楽器、あるいはホッケーのスティックやプロ野球選手のバットなどにも使われていることから、そのしなやかさと衝撃への耐久性が伺い知れます。木目は板目、柾目共に明瞭で美しく、板目はケヤキの似ていることから、以前はケヤキ材と偽って販売されるようなこともあったそうです。木口がほぼ正円なことから、木を無駄なく使うことができるので価格を抑えられるのも魅力。VFではタモが持つ白木の良さを活かした無着色の仕上げにこだわり、『木肌美人』を推奨しております。

